

病院前救護の充実を

アレルギー対策で申し入れ

党神奈川
県議団

教職員研修など対応を万全に

公明党神奈川県議団

(鈴木秀志団長)は12

日、県庁内で黒岩祐治知事に会い、アレルギー疾患対策に関する申し入れを行った。

これには、特定非営利活動法人(NPO法人)「アレルギーを考える母の会」の園部まり子代表が同席した。

席上、鈴木団長らは

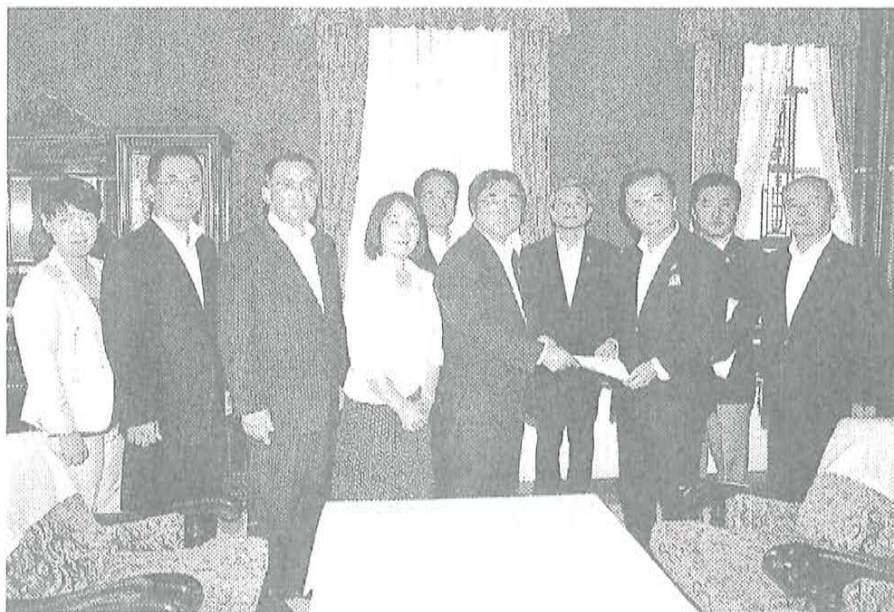
教育現場における食物アレルギーへの対応について触れ、「症状が重篤な場合、いち早く自己注射薬『エピペン』を使用できるかどうかで生死を分けることもあるだけに、教職員などが行うプレホスピタル・ケア(病院前救護)の充実が急がれる」と

指摘した。

さらに、①学校・保

育所の教職員の研修の充実②誤食などの事例の収集・分析などを通じた安全な給食提供体制の確立③救急隊など関係者の研修を継続的に行うための連携体制の構築——などを求めた。

これに対し黒岩知事は、今後の取り組みについて検討し、必要な



黒岩知事(右から3人目)に要望書を手渡す
党神奈川県議団と園部さん(左から4人目)

は、今後の取り組みについて検討し、必要な